

プランごとのデメリットの解決策(案) ※第3回地域協議会までの途中経過

プラン	項目	デメリット番号	デメリットの内容	解決策
A-1 案	通学路(工事期間中)	(1)	工事中において、交野小児童の通学時に事故誘発の可能性はある	<ul style="list-style-type: none"> ・ 工事関係車両の進入・退出経路の指定する ・ 工事開始当初の交小周辺道路等への歩道を整備する
	通学路(新校舎整備後)	(2)	長宝寺小児童の通学距離が長くなる	<ul style="list-style-type: none"> ・ 期限付きで2キロ前後の地域は、スクールバスの運行を検討する ・ 体力面や身体面で学校へ通うのが困難な子どもの送迎用に駐車許可証を発行して車で来てても良いこととする ・ 児童見守り隊を各地区で輪番制で結成する ・ 専門の見守り隊(ガードマン)の適正配置の必要性がある
	工事期間中の騒音・振動	(3)	騒音・振動の中での授業。ほこり・臭気の影響	
		(4)	仮設(プレハブ)内での空調	
	敷地周辺環境	(5)	工事車両と児童の安全確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 工事関係車両の進入・退出経路を指定する ・ 工事開始当初の交小周辺道路等への歩道を整備する
		(6)	工事期間中、施設利用などが不便になる	
	グラウンド・体育館・プールなどの使用	(7)	周辺の施設を使う必要がある	
		(8)	移動の負担・安全確保	・ いきいきランド・私部グラウンドまでの専用歩道の設置する
	工程及び工期、建設費その他	(9)	工期が最も長い	
		(10)	仮設費用もかかるため、建設コストが最も高い	
A-2 案	通学路(工事期間中)	(11)	工事中において、交野小児童の通学時に事故誘発の可能性はある	<ul style="list-style-type: none"> ・ 工事関係車両の進入・退出経路を指定する ・ 工事開始当初の交小周辺道路等への歩道を整備する ・ 登下校の時間は、大きい工事を避けたり、または教職員を配置する
	通学路(新校舎整備後)	(12)	長宝寺小児童の距離が長くなる	<ul style="list-style-type: none"> ・ 要所・要所に防犯カメラを設置する ・ 通学路の分岐点にボランティアを配置する ・ 児童見守り隊を各地区で輪番制で結成する
	工事期間中の騒音・振動	(13)	騒音・振動の中での授業。ほこり・臭気の影響	
	敷地周辺環境	(14)	工事車両と児童の安全確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 工事関係車両の進入・退出経路を指定する ・ 工事開始当初の交小周辺道路等への歩道を整備する ・ 校舎を鍵型にすることによって運動場が最大に利用できる
		(15)	工事期間中、施設利用などが不便になる	
	グラウンド・体育館・プールなどの使用	(16)	周辺の施設を使う必要がある	
		(17)	移動の負担・安全確保	・ いきいきランド・私部グラウンドまでの専用歩道の設置する
	工程及び工期、建設費その他	(18)	工期が長くなる	
		(19)	建設コストが高くなる	
B 案	通学路(工事期間中)	(20)	交野小児童の通学距離が長くなる地域がある	<ul style="list-style-type: none"> ・ 送迎用の駐車スペースを確保する ・ 市役所のトイレを下校途中で借りられるようにする ・ 通学バスを運行する(利用する保護者が経費を一部負担) ・ 通学専用道路を整備する ・ トレーニングパトロールの実施。一中運動部がクラブのトレーニングを兼ねて下校中の通学路を走る ・ 老人会、自治会の協力を得て見守る ・ 児童見守り隊を各地区で輪番制で結成する
		(21)	下校時などの安全確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 期限付きで2キロ前後の地域は、スクールバスの運行を検討する ・ 体力面や身体面で学校へ通うのが困難な子どもの送迎用に駐車許可証を発行して車で来てても良いこととする ・ 通学専用道路を整備する ・ トレーニングパトロールの実施。一中運動部がクラブのトレーニングを兼ねて下校中の通学路を走る ・ 犬の散歩を子どもの帰宅時間に合わせ散歩がてら見守る ・ 有志の地域ボランティア(主にお年寄り)によるぶらぶら・きよるきよる運動をする ・ 老人会、自治会の協力を得て見守る ・ 児童見守り隊を各地区で輪番制で結成する ・ 校区全域に通学専用の歩道橋を設置する ・ 古い土塀やブロック塀のある様なコースや、車の行き来の多い場所等の安全整備をする ・ 携帯電話のルールを決め、学校への持ち込みをOKとして子どもの位置確認ができるようにする ・ 校舎内での正面玄関の不審者対策にHDカメラの設置や施錠を徹底する ・ 子ども達のチェック、休憩等ができる中継所をつくる
	通学路(新校舎整備後)	(22)	通学環境が変わる	<ul style="list-style-type: none"> ・ 要所・要所に防犯カメラを設置する ・ 通学路の分岐点にボランティアを配置する ・ 老人会、自治会の協力を得て見守る ・ 児童見守り隊を各地区で輪番制で結成する ・ 見守りの人を雇用して要所に立たせる ・ 長宝寺小学校区福祉委員会活動中の「あいさつ・声かけ運動」を取り入れる ・ 通学路要所に数カ所「安全ハウス」を設置して警備員を配置する

黒字：主として行政、学校が検討すること。赤字：地域が主として検討すること。